

研究講習事業報告

学発番号: 学21-002

事業名: 細胞分野実技講習会 (第14回京都府細胞診ワークショップ)

日時: 令和3年6月27日(日) 13:00~17:00

場所: 京都保健衛生専門学校視聴覚室ならびに第二実習室

主題1: 「LBCの実際 -非婦人科細胞診を中心に-」: 講義 LIVE配信【Web開催】

講師1: 岩崎 由恵 (医療法人徳洲会 徳洲会病理部会事務局)

主題2: 「非婦人科細胞診LBC標本 30症例」: 鏡検実習と解説、総合討論

講師2: 岩崎 由恵 (医療法人徳洲会 徳洲会病理部会事務局)

参加数: 総数: 35名 (京臨技会員: 33名)

報告者: 久保 喜則 (京都第一赤十字病院)

以下、講演内容など

14回を迎える今年は、新型コロナウイルスの感染拡大の最中ではありますが、募集人数を約半分に制限し、感染対策を万全にしてハイブリッド形式で開催いたしました。LBC標本は、子宮頸部および体部材料については一般的に広く運用されるようになってきましたが、それ以外の領域についてはまだまだ運用の機会の少ない施設も多いと思います。非婦人科LBC」をテーマに企画し、講師には医療法人徳洲会 徳洲会病理部会事務局 岩崎生をお迎えし、前半の講義はLIVE配信を行い、尿・膵胆道系・口腔のLBCについて詳しくいただきました。後半の鏡検実習は、「非婦人科細胞診LBC標本 30症例」を1症例につき1分間で鏡検しました。参加者からの質問には講師が随時解説いただき、総合討論では、自身の経験を踏まえた細胞所見の見方や考え方を解説していただきました。日臨技会員や細の方々に参加され、実践に役立つ、大変貴重で有意義なものとなりました。昨年度は中止となった講習会で、例年より人数を制限しての講習会になりましたが、講義配信としたハイブリッド形式は、有効な研修会・講習会として、今後益々増える企画であろうとす。病理・細胞検査研究班でも今回の経験を活かしていきたいと思ひます。

例年の

について
今回「非
由恵先
く説明し
つき4～5
崎先生
胞検査士

をLIVE配
:思いま